

県域ラジオ放送事業者による「中継局放送」の実証

報 告 書

株式会社エフエム岩手

— 報告書 目次 —

はじめに	1
1. 中継局放送の放送システムの構築等	
1-1 「中継局放送」可能地域	2
1-2 県域放送と「中継局放送」の切替え機能	3
1-3 放送設備の安全・信頼性に係る技術基準厳守 及び 実証システムによる放送事故防止	4
1-4 「中継局放送」機器構成	5
1-5 「中継放送」への切替え方法	
① 切替え時間	6
② 切替え画面	7
③ 切替え釦押下 及び 番組スタートのタイミング	8
1-6 実証システムの運用状況	9
2. 地域情報番組の効果的な実施方法.	
① 地域情報番組の制作体制	10
② 地域情報番組の周知	11
③ 地域情報番組の内容	11
3. 「中継局放送」実証運用に係る協力体制	12
4. 「中継局放送」運用に際しての放送事業運営への影響	13
5. 「中継局放送」を運用しての考察	13
6. インフラに関して	14
7. 具体化に向けた「1つの機器構成案」	15
【 添付資料 】	
別添一資料1：番組カレンダー	
別添一資料2：地域情報番組の周知実績	
別添一資料3：コンテンツニーズ調査①／コンテンツニーズ調査②	
別添一資料4：「検討会」開催要項（案）	
【 参考資料 】	
中継局放送 放送日誌 抄録	

はじめに

東日本大震災において臨時災害放送局は、被災当初の給水・炊き出し等の救援情報から、地域の復興情報や住民を元気づける情報へとフトし、被災された方々に役立つ情報を流し続けている。岩手県・宮城県・福島県では東日本大震災の後、24市町が臨時災害放送局を立ち上げ、今なお9市町村が放送継続中である。

エフエム岩手は釜石市の要請により、エフエム東京の技術支援で臨時災害放送局の立ち上げに協力した。当初はライフライン情報、各避難所の情報、生活情報。時間が経つにつれ、行政からのお知らせなどに放送内容が変化していった。現在では、エフエム岩手が釜石市から臨時災害放送局の運営を請けおい、地域情報はもちろんのこと、衛星配信番組を織り交ぜながら毎日4時間の生放送を実施している。

釜石市は、コミュニティ放送局への移行を模索しているが、運営資金が最大の障害となり民間にその意欲を見いだすことが出来ていない。コミュニティ放送局を切望するものの、資金面・運営面を鑑みると移行に踏み切れない地域もあるのが現状である。

一方で久慈市は、エフエム岩手と番組契約をしているものの、県域放送では地域商店街の告知など極めてローカルな情報の扱いが難しいことを感じていた。久慈市のほか、エフエム岩手と番組契約している八幡平市・遠野市からは、コミュニティ放送は必要だが番組全てが地域向けでは内容が単調となり、同時に県内・全国にも情報発信したいというニーズがうかがえた。

県域ラジオ事業者による「中継局放送」の実証は、全国の市町村に潜在するこれらの要望に対応できる新しいモデルを築き、コミュニティ放送を必要としながらも運用負担等の問題で実現できない地域において、県域放送の一部時間を活用し、県域FMラジオ放送ネットワークを構成する1中継局から当該中継局の放送エリア内の住民に向けた放送を試行して、地域コミュニティの形成に貢献できる県域放送の新しい形態を提案するものである。

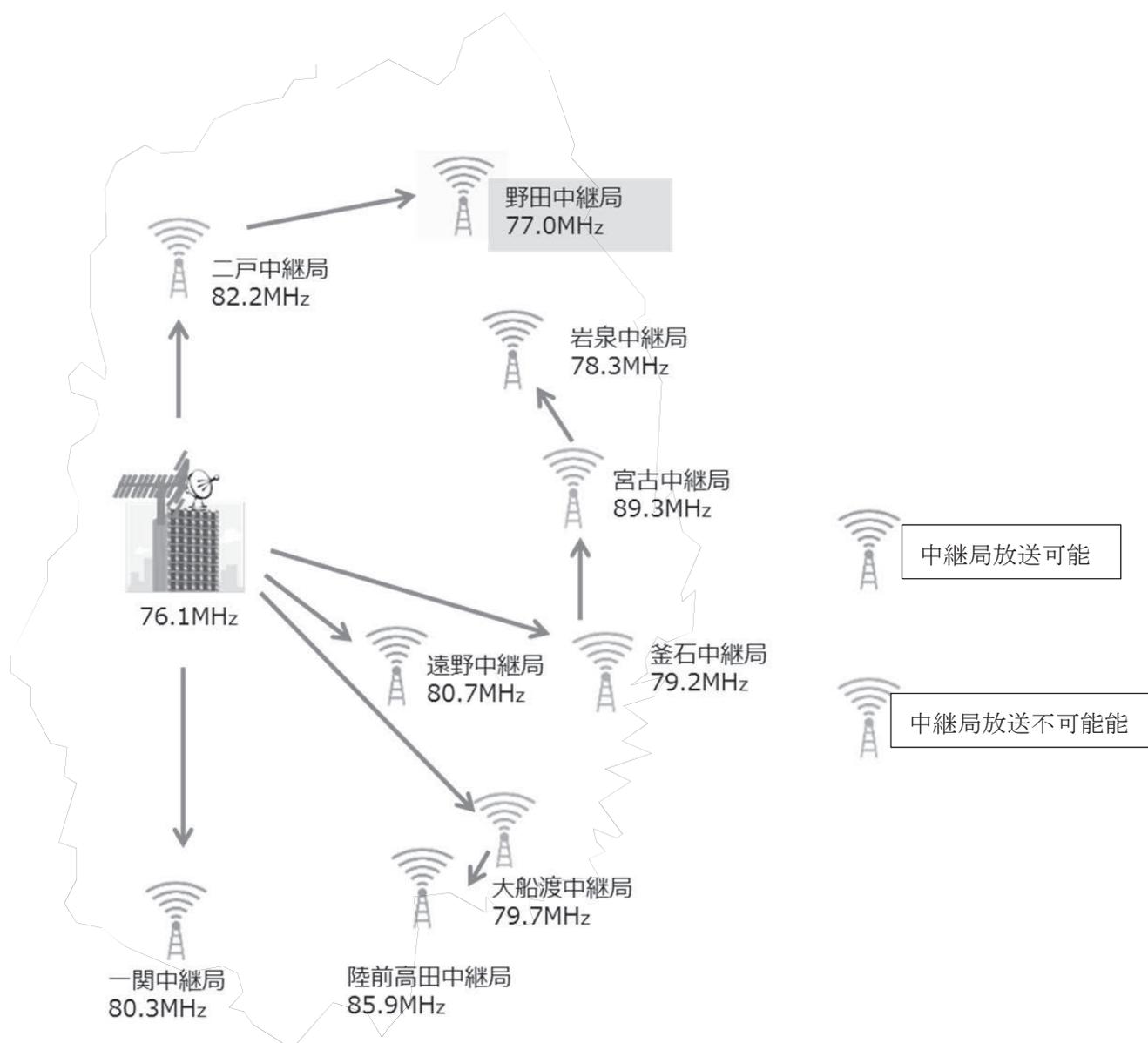
1-1 「中継局放送」可能地域

エフエム岩手は県内9か所に中継局を設置している。(2015年3月15日現在)
各中継局は、本局または上位中継局の放送波を受け、周波数変換して再送信する
放送波中継ネットワークで構築している。

このネットワーク構成により、中継局放送可能地域は、

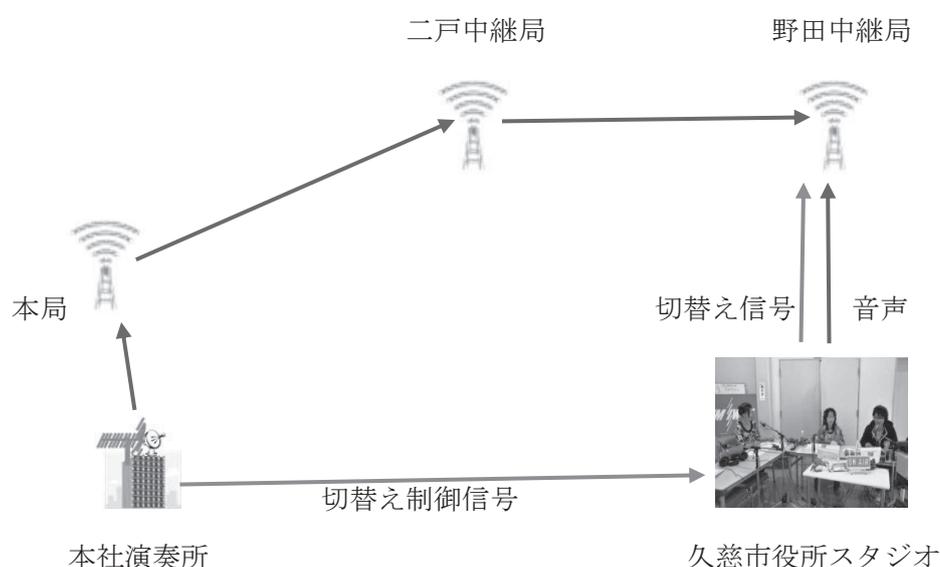
「野田」「岩泉」「遠野」「一関」「陸前高田」の5中継局エリアとなる。

今回の実証は、久慈市と野田村を放送エリアとする「野田中継局」で実施した。



1-2 県域放送と「中継局放送」の切替え機能

久慈市・野田村をカバーする野田中継局にコンポジット切替え器を増設、上位局である二戸中継局からの放送波をコンポジット信号に変換し、久慈市役所スタジオから伝送したコンポジット信号との切替えを行うことで野田中継局におけるエフエム岩手県域放送の番組と「中継局放送」の切替えを可能とした。



- エフエム岩手の県域向け放送

本社演奏所（3.4G 帯 STL 固定回線）→本局（放送波）→二戸中継局（放送波）→野田中継局のルートで伝送。

- 久慈市のコミュニティ向け「中継局放送」

久慈市役所（ステレオコンポジット信号を 5GHz 無線アクセスシステムで）→野田中継局のルートで伝送。

- 野田中継局の切替え信号

エフエム岩手本社演奏所（光回線 VPN 構成）～久慈市役所（5GHz 無線アクセスシステム）～野田中継局のルートで伝送。

1－3 放送設備の安全・信頼性に係る技術基準厳守及び実証システムによる放送事故防止

大規模災害時の活用に資するため、本社は切替え可否のゲート機能のみとし、久慈市役所からの直接制御で運用することを想定したが、技術基準の厳守及び放送事故防止のため、切替え制御の基本は本社演奏所とした。また、中継局は放送設備の安全・信頼性に係る技術基準に適合する設備とし、放送事故のないよう細心の注意を払いながら運用にあたった。

切替え制御信号は、エフエム岩手演奏所から久慈市役所までは光回線（B フレッツ固定 IP）で、久慈市役所から野田中継局までは 5GHz 帯無線アクセスシステムで伝送。エフエム岩手本社演奏所で切替え制御を行った。

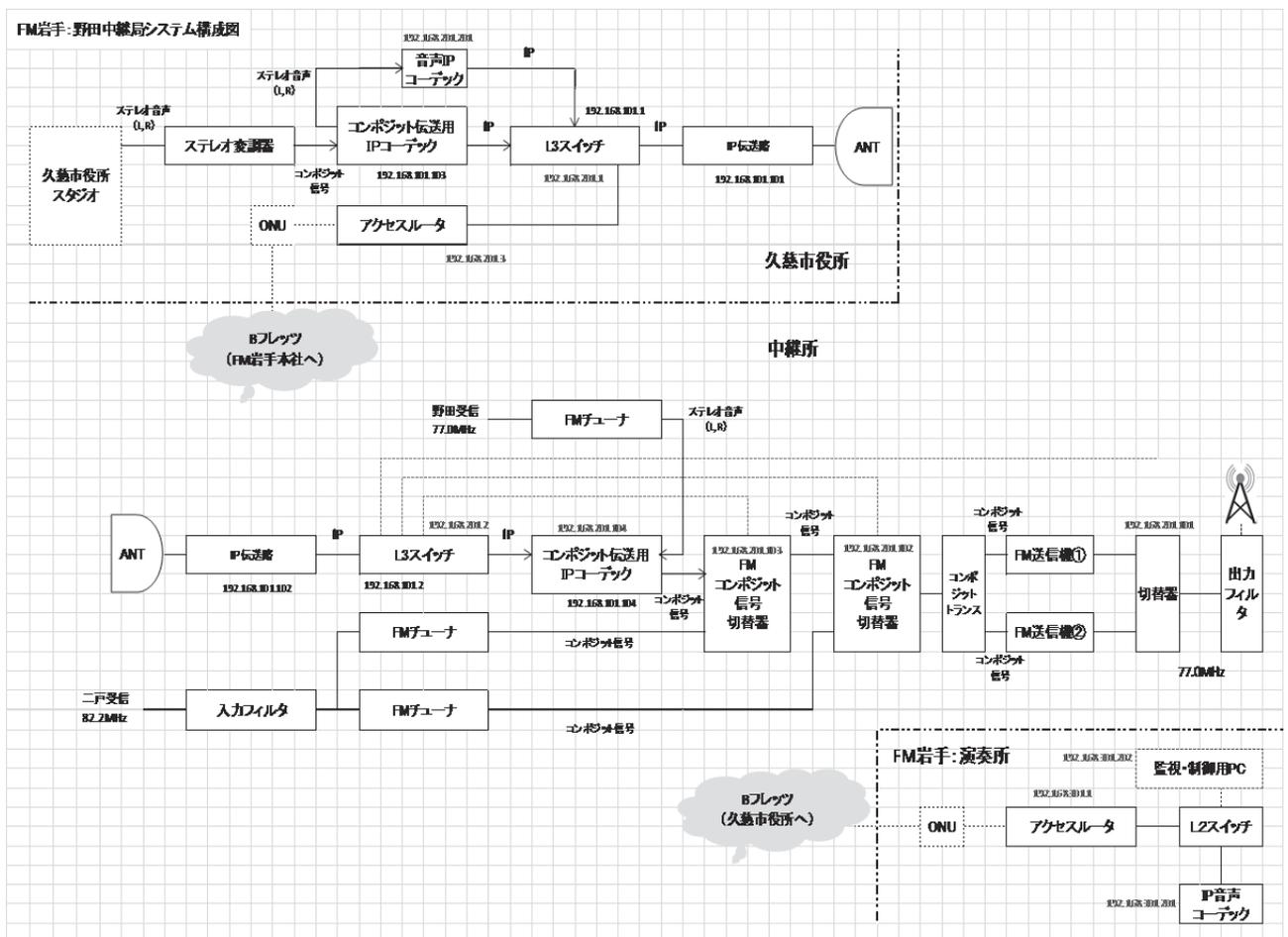
また、久慈中継局の放送モニターは、野田中継局で受信した音声を、切替え信号の逆ルート、つまり野田中継局から久慈市役所までは 5GHz 帯無線アクセスシステム、久慈市役所から本社演奏所までを光回線（B フレッツ固定 IP）で伝送。エフエム岩手本社演奏所で監視を行った。

1-4 「中継局放送」 機器構成

中継局放送を実施するためには、中継局で受信した放送波をFM放送の基本となる「ステレオコンポジット」信号に落とし込む必要があり、中継放送機を受信機とFM送信機に分離し、受信機から「ステレオコンポジット信号」が取り出せるような機器構成に変更した。

そのうえ、中継局放送の「ステレオコンポジット信号」を久慈市役所に置いたスタジオで生成し、IPコーデックを介して中継局へ伝送。

中継局に増設した「コンポジット信号切替器」で中継局放送への切替えを可能にした。



1-5 「中継局放送」への切替え方法

① 切替え時間

切替え操作は、県域放送の編成権を維持するため、エフエム岩手本社演奏所で行った。インターネット・ブラウザで野田中継局の「コンポジット信号切替え器」に内臓のアプリケーションを操作する形で実施。

タイムラグがあり、操作から実際の切替えまでの時間を見込んだ運用となった。

県域放送⇒中継局放送							
切替え釦押下		切替え完了		エリア限定放送スタート			
	(切替え完了まで2秒～4秒)		(マージン2秒)				
県域放送				エリア限定放送			
切替え釦押下のタイミングは 県域放送切替えの時間の3秒前とした				エリア限定放送のスタート時間は 切替え釦押下時間から6秒後とした			

中継局放送⇒県域放送							
切替え釦押下		切替え完了					
	(切替え完了まで2秒～4秒)						
エリア限定放送				県域放送			
切替え釦押下のタイミングは 県域放送切替えの時間の4秒前とし エリア限定放送の完奏時間を 県域放送切替え時間の3秒前とした							

◆切替えに要する時間は、2秒～4秒

◆県域放送から「中継局放送」への切り替えは、県域放送側のCM終了部に2秒の余裕を持たせたうえ、県域放送側の番組スタート時間の3秒前を釦押下のタイミングとした。

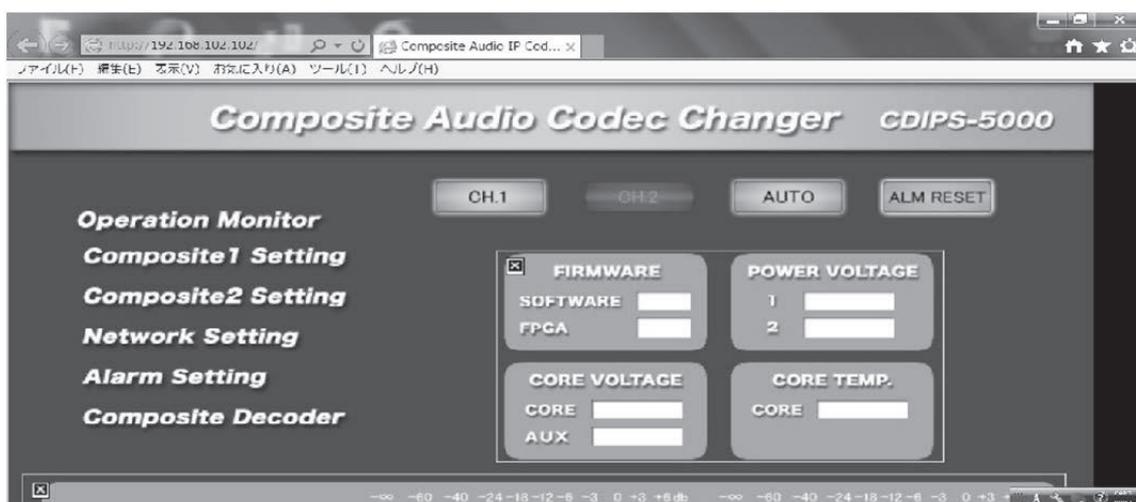
さらに、不測に備え、3秒後を「中継局放送」のスタート時間とした。結果、県域放送CM終了後5秒間の無音時間が発生したが、違和感のない運用と捉えている。

◆「中継局放送」から県域放送への切替えは、県域放送CM開始時間の4秒前を釦押下タイミングとし、「中継局放送」の終了時間を県域放送CM開始時間の3秒前とした。結果、3秒間の無音時間が発生するが、殆んど違和感のない運用である。

1-5 「中継局放送」への切替え方法

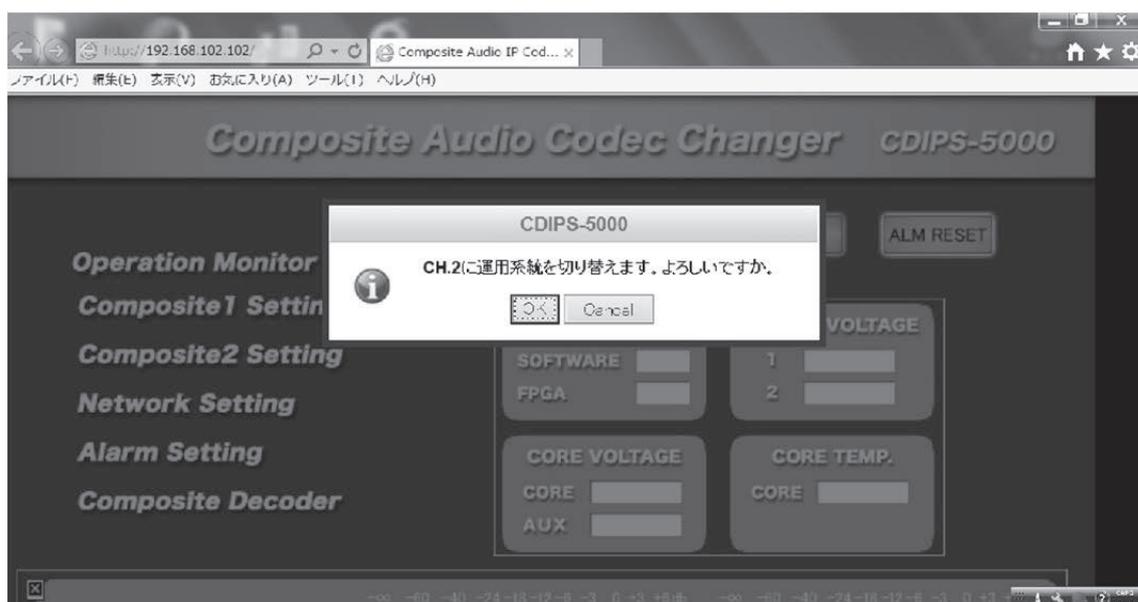
② 切替え画面

エクスプローラのお気に入りから、1番目の「本社・野田切り替え」で接続
(接続先 192.168.102.102)



CH2をクリックし、

「CH2に切り替えます。よろしいですか」OK CANCEL 表示で、
クリックのタイミングを待ちます。



1-5 「中継局放送」への切替え方法

③ 切替え釦押下

及び番組スタートのタイミング

- (1) 「エリア限定放送」開始1時間前には、
アプリ「E x P i n g」を立ち上げ、P i n g 導通テストを実施すること。
- (2) 「エリア限定放送」開始1分前には、
エクスペローラにて「本社・野田切り替え」をクリック待ちの状態にすること。
- (3) 「エリア限定放送」開始部
 - ① 時報後03秒スタートの番組枠 クリック：時報CM中59分59秒
番組スタート：時報後 00分05秒
 - ② 00秒スタートの番組枠 クリック：SB中 ●●分57秒
番組スタート： ●●+1分03秒
- (4) 「エリア限定放送」終了部

全切替えにおいて、SB開始時間の4秒前で【クリック】
久慈スタジオ側は、SB開始時間3秒前で完奏

1-6 実証システムの運用状況

12月～2月の期間、当該システムで毎週木曜夜20時から55分の定時番組を放送したほか、曜日・時間を変更し5分から25分の番組を週1回、散発的に放送した。その他、2月に「防災ラジオ」の起動試験を兼ねた防災番組を3回、さらに、2月17日には岩手県沖を震源とする地震で「津波注意報」が発令され、本番さながらの「中継局放送」の実証となった。計27回の「中継局放送」を無事故で過ごせたが、以下4回の不具合・不体裁が発生した。

以下より、「アクセスルータ」の設定ミスと切替え釦押下のタイミングを運用前に検証していれば、ほぼ完璧に運用出来たことになる。

① 12月5日（金）Bフレッツ固定IP回線での不具合で放送時間を変更。

11:50から5分の予定で放送にあたったが、固定IP使用での「アクセスルータ」の設定に誤りがあり本社演奏所―久慈市役所間の回線が不通になっていたもの。

この時点では、設定の誤りに気付くことなく再起動で復旧対応。

1月15日に本社側の工事に絡む不通の時点で、誤りが発覚。

放送予定を変更して、14:45から10分番組として放送。

② 12月11日（木）20:00から55分間の定時番組の終了部切替え時

切替え釦押下のタイミングを県域放送CM開始時間の6秒前で実施。

切り替わりが早かったことにより、県域放送で放送されていた番組の終了部がこぼれた感じで放送された。

③ 12月19日（金）11:50から5分間の単発番組の終了部切替え時

12月11日（木）同様の不体裁。

「中継局放送」終了部の切替え釦押下のタイミングを6秒前から4秒前に変更し、前述1-5-③のマニュアルを整備。

以降、このような不体裁が無くなる。

④ 1月15日（木）20:00から55分の定時番組については、久慈スタジオで切替え操作。

前日本社側で行われたBフレッツの工事後、本社―久慈スタジオ間が不通になり、復旧出来なかったため久慈スタジオに出向き切替え操作。

12月5日の不通も含め、久慈側・本社側とも「アクセスルータ」の設定が固定IP用になってなかった事が判明。設定担当の業者対応で設定をし直し解決。

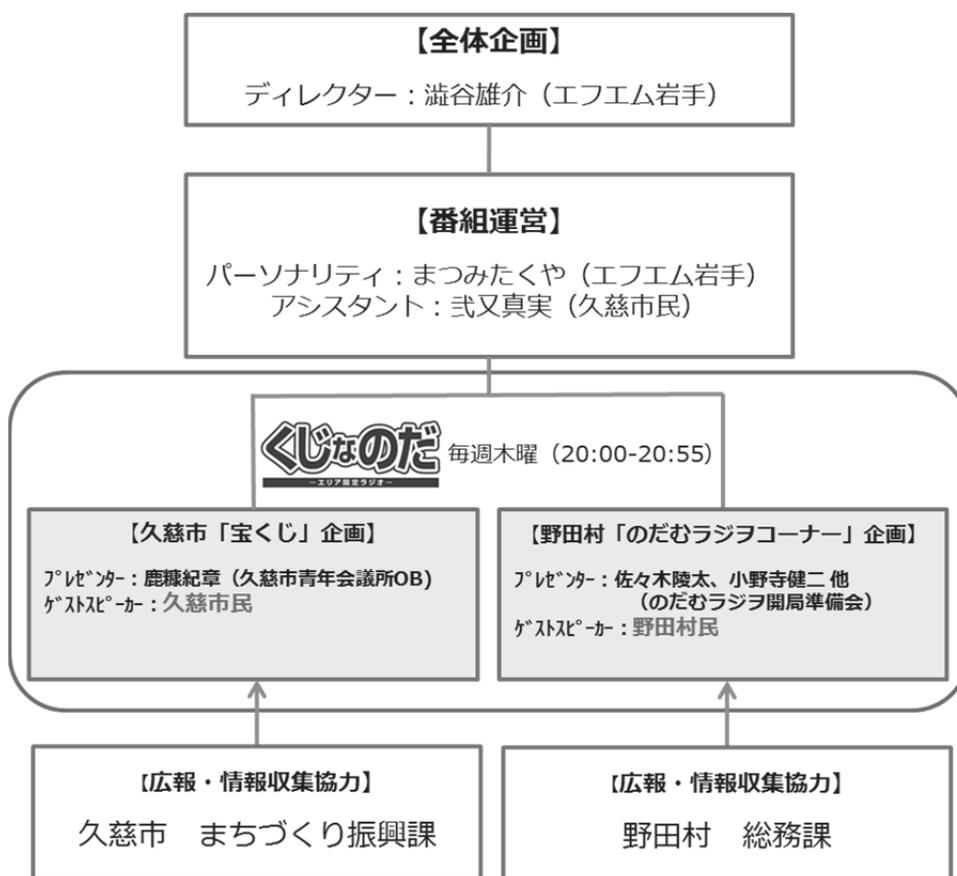
2 地域情報番組の効果的な実施方法

① 地域情報番組の制作体制

「中継局放送」は、週に1回、55分の生放送を実施することを基本に、ほか散発的に週1回の録音番組を放送することとした。

別添一資料1：番組カレンダー

正確かつ迅速に番組を制作する為、メインパーソナリティと制作ディレクターはエフエム岩手で番組を手がけるスタッフを動員。久慈市・野田村の行政担当者との連絡及び地域住民・企業とのリレーションを円滑にするため、アシスタントは現地で短期雇用した。



地域住民による「情報発信」番組を実現するために、図のような体制を構築し、自社ディレクターの指導のもと、地域住民・団体自らが番組企画、取材、台本作成まで取り組んだ。また、番組運営においては、出演者に加え、プレゼンターの役割を地域住民が担い、地域に密着した番組内容とした。

② 地域情報番組の周知

地域住民の聴取に資するよう、住民に対し「中継局放送」やその番組内容について久慈市及び野田村と協力して周知を行った。

久慈市民及び野田村民およそ 42,469 人に対し、久慈市・野田村の広報誌、新聞広告等での告知を徹底し、「中継局放送」の実施や放送内容の周知を図った。

添付一資料 2：地域情報番組の周知実績

③ 地域情報番組の内容

放送内容は、地域住民への「情報提供」と地域住民による「情報発信」の 2 パターンを設定した。

◆地域住民への「情報提供」番組

全戸アンケート調査から、生活情報、観光・イベント情報、行政情報へのニーズが高いことが明らかになったため、5分～25分の番組でこれらを情報提供番組として放送した。

別添一資料 3：コンテンツニーズ調査①／コンテンツニーズ調査②

◆地域住民による「情報発信」番組

自治体担当者、地元住民のヒアリング調査から、地域住民の様々な活動や仕事、地域文化に関する情報へのニーズが高いことが明らかになった。

55分の生放送では地域の「人」にフォーカスを当てた番組として放送を試みた。その結果、多様な市民が情報の発信者となり、応援メッセージが届くなどリスナーからも好感触の反応が数多くあった。

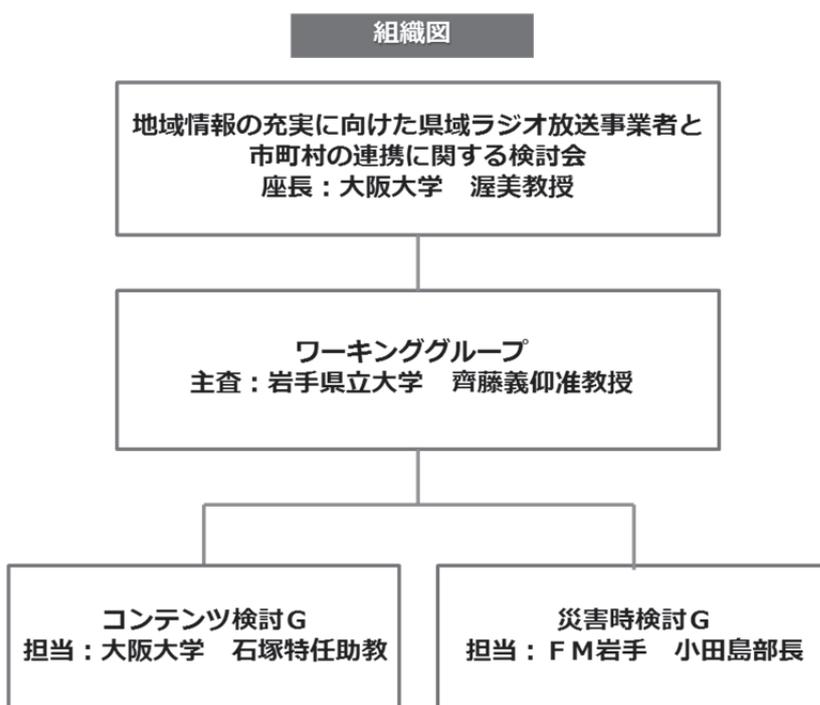
	求められる情報の性質 (アンケート結果より)	対応番組
地域住民へ 情報提供	即時性	「くじなのだmedium」…15分、25分番組 「くじなのだmini」…5分番組
地域住民による 情報発信	地域固有性 双方向性	「くじなのだ」…55分番組 (固定曜日時間・原則生放送)

3 「中継局放送」実証運用に係る協力体制

「中継局放送」を実施するにあたり、平成26年10月20日、「地域情報の充実に向けた県域ラジオ放送事業者と市町村の連携に関する検討会」を招集。

別添一資料4：「検討会」開催要項（案）

下記組織図の「災害時検討G」が、「中継局放送」の実証運用を担った。



- 災害時検討
災害協定の内容、災害マニュアルの文書化
 - 久慈市総務部消防防災課 主任 神先 夏樹
 - 野田村総務課庶務財政班 主査 坂本 良太

- システム検討
「中継局放送」等の具体化・実現が考えられることから、その技術的課題等について検討し、「検討会」報告に反映する。
 - 主査：株式会社ジャパンネットワーク取締役回線室長 戸田 耕市
 - 電気興業株式会社仙台支店 営業課 岩渕 貴久

4 「中継局放送」運用に際しての放送事業運営への影響

県域民間放送局は、その収益確保のため電波の時間売り・スポット売りを行っており、一部時間・一部地域とはいえ放送エリアを縮小することは、スポンサーメリットのダウンに直結することを考慮しなければならない。

エフエム岩手は、岩手県内8市3町と、厚生労働省緊急雇用対策事業を活用した番組制作の委託契約を受けており、月曜から木曜日の12時から55分、月曜から木曜日の15時から55分間は、一切ほかのスポンサーには提供していない。

この番組制作・番組編成のスタイルを維持・継続することで、スポンサーメリットを下降させず、一定時間において各中継局ごとのローカル放送が可能となる。

5 「中継局放送」を運用しての考察

切替え制御のタイムラグについて当初は戸惑ったものの、切替えマニュアルを整備してからは、周知した誰もが簡単に操作できるレベルとなった。緊急時の中継局放送が容易に行えるシステムである。

一方で、週に2回程を想定し運行する定時番組については、県域放送で番組編成を管理するシステムに中継局放送側の番組編成情報が取り込めず、切替えを失念する危険性を感じた。本社演奏所が、放送直前に中継局放送スタジオ側から連絡を受けて、切替え対応をした。

逆に考えると、日頃からこのような運用をすることで、災害時の緊急放送がスムーズに行える状態が保てるとも言える。

今回は、本社スタッフが定時番組を、久慈支局スタッフが緊急放送を、それぞれを効果的に放送出来た。中継局放送をする実施する場合は、その地域にシステムを理解する技術担当者と、地域に根差したアナウンサーが在住している必要がある。

6 インフラに関して

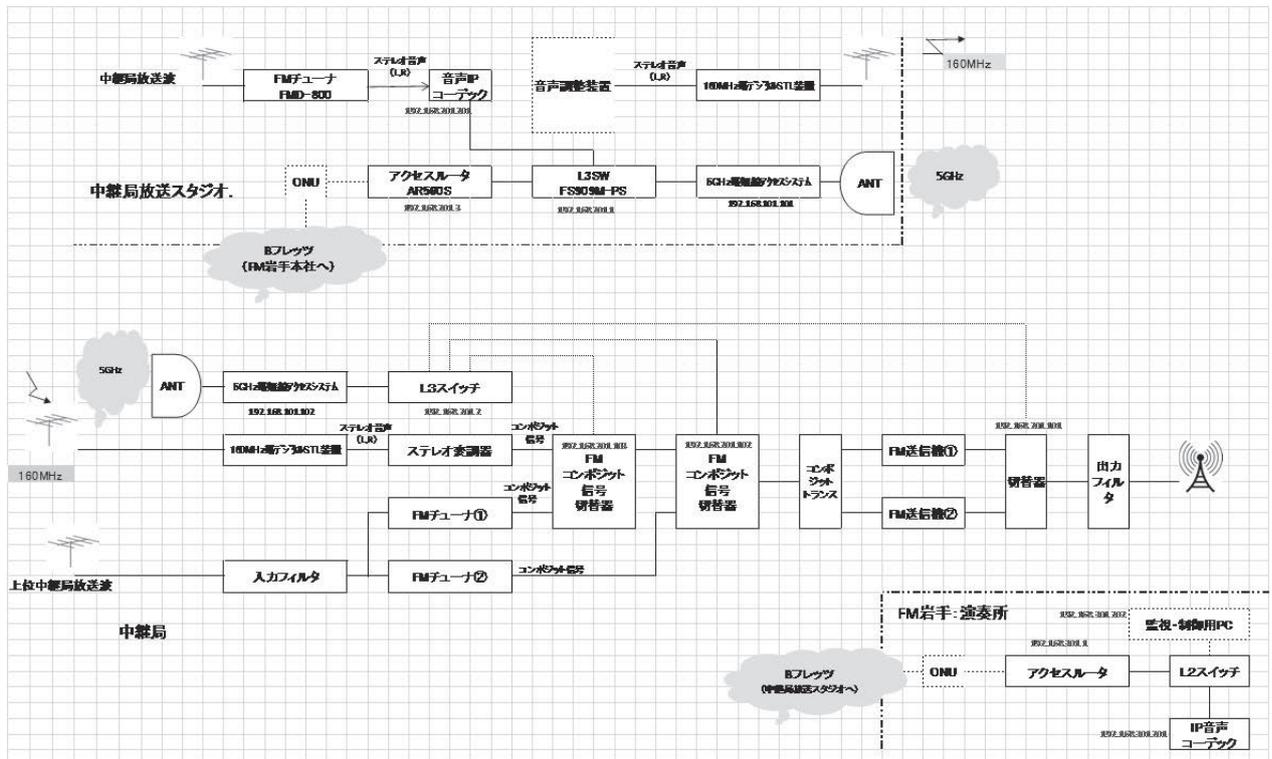
ハード的な側面から、要となる切替え制御がIP伝送に頼らざるを得ない状況下、中継局がある山頂には光回線といったインフラは無く、今回の実証放送では、「5GHz無線アクセスシステム」による制御と音声伝送により「中継局放送」を行った。

今後は、STL（演奏所—送信所間固定回線）とTTL（送信所—送信所間固定回線）で制度化が検討されている「デジタル160MHz帯STL/TTL」を視野に、実現可能な中継回線の構成を検討する必要がある。

7 具体化に向けた「1つの機器構成案」

「5GHz無線アクセスシステム」により回線制御し、音声伝送は今後の制度化が見通される「デジタル160MHz帯STL/TTL」で、実現可能な中継回線の構成を提案する。

機器構成図



別添一資料1：番組カレンダー

くじなのだ

— エリア限定ラジオ —

12月4日(木)

毎週木曜日 夜8時 ※不定期放送もあります。

放送スタート!

2014年 (平成26年) **12** December

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	④	⑤	6
				20:00~20:55	11:50~11:55	
7	8	9	10	⑪	⑫	13
				20:00~20:55	11:50~11:55	
14	15	16	17	⑱	⑲	20
				20:00~20:55	11:50~11:55	
21	22	23	24	⑳	㉑	27
				20:00~20:55	11:50~11:55	
28	29	30	31			

この放送は県域放送局である株式会社エフエム岩手が、野田中継局77.0MHzで平成26年12月4日～平成27年2月28日まで久慈市・野田村を中心とする地域で「エリア限定」で放送するラジオ番組です。



77.0MHz

2015年 (平成27年) **1** January

日	月	火	水	木	金	土
				①	2	3
				20:00~20:55		
④	5	6	7	⑧	9	10
10:55~11:00				20:00~20:55		
⑪	12	13	14	⑮	16	17
10:55~11:00				20:00~20:55		
18	⑲	20	21	⑳	23	24
	10:30~10:45			20:00~20:55		
25	㉑	27	28	㉒	30	31
	10:30~10:45			20:00~20:55		

2015年 (平成27年) **2** February

日	月	火	水	木	金	土
1	②	3	4	⑤	6	7
	10:30~10:45			20:00~20:55		
8	9	10	11	⑫	13	⑭
				20:00~20:55		19:30~19:55
15	16	17	18	⑰	20	⑳
				20:00~20:55		19:30~19:55
22	23	24	25	㉑	27	㉒
				20:00~20:55		19:30~19:55

みなさまの友人、知人
もしかしたら
あなたも出演するかもしれません。
ぜひ聞いて下さい!!



※放送日時を変更する場合には事前にエフエム岩手で告知いたします。

コンテンツニーズ調査①

番組開始にあたり、久慈市及び野田村住民に対し、全戸アンケートを実施した

- **実施期間** 2014年11月15日～30日
- **実施数** 久慈市15,600世帯 / 野田村1,620世帯
広報と一緒に久慈市及び野田村の全戸に配布した
- **回収方法** 郵送による回収
- **アンケートは筆記式**
- **有効回答数1,143**
男性…51.1% 女性…48.9%
- **久慈市…80.5% 野田村…19.5%**

●アンケートは、お手持の住所に貼るアンケート封筒

性別	年齢	職業	世帯主	住居	世帯員
男	10代	学生	世帯主	1人	1人
女	20代	学生	世帯主	1人	1人
男	30代	会社員	世帯主	2人	2人
女	40代	専業主婦	世帯主	2人	2人
男	50代	会社員	世帯主	2人	2人
女	60代	専業主婦	世帯主	2人	2人
男	70代	会社員	世帯主	2人	2人
女	80代	専業主婦	世帯主	2人	2人
男	90代	会社員	世帯主	2人	2人
女	100代	専業主婦	世帯主	2人	2人

② エリア別アンケートについて、お断りします。

No.	調査項目	回答	割合
1.1	放送時間	18時～20時	80.5%
1.2	放送曜日	月曜日	19.5%
1.3	放送回数	1回	80.5%
1.4	放送形式	録音	80.5%
1.5	放送内容	ニュース	80.5%
1.6	放送言語	日本語	80.5%

③ エリア別アンケートについて、お断りします。

No.	調査項目	回答	割合
2.1	放送時間	18時～20時	80.5%
2.2	放送曜日	月曜日	19.5%
2.3	放送回数	1回	80.5%
2.4	放送形式	録音	80.5%
2.5	放送内容	ニュース	80.5%
2.6	放送言語	日本語	80.5%

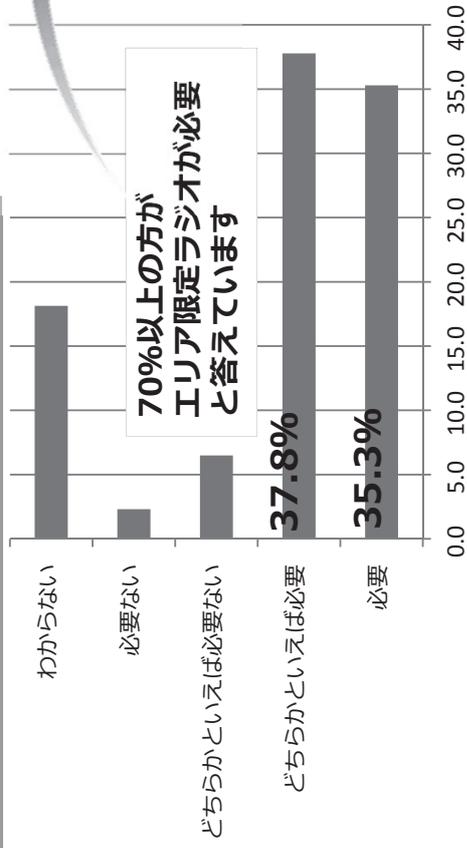
④ 放送方法について、お断りします。

No.	調査項目	回答	割合
4.1	放送時間	18時～20時	80.5%
4.2	放送曜日	月曜日	19.5%
4.3	放送回数	1回	80.5%
4.4	放送形式	録音	80.5%
4.5	放送内容	ニュース	80.5%
4.6	放送言語	日本語	80.5%

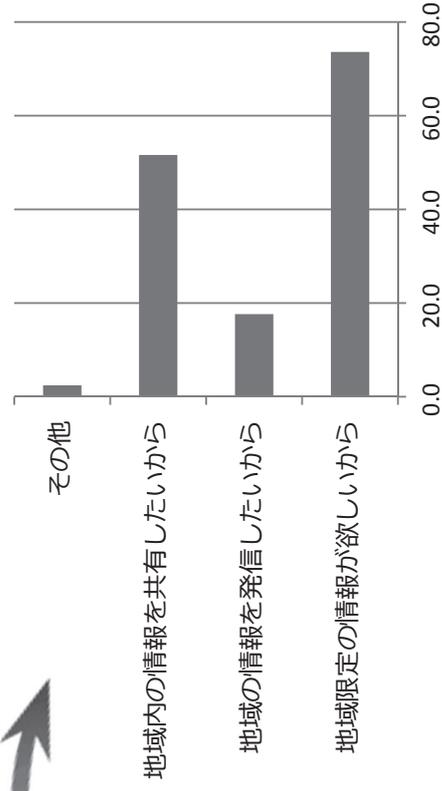
別紙参照

コンテンツニーズ調査②

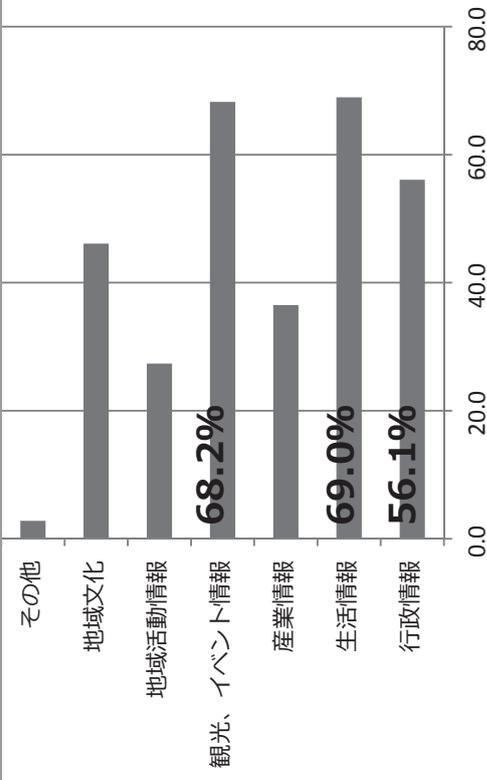
Q エリア限定ラジオが必要ですか？



Q エリア限定ラジオが必要であるという理由



Q エリア限定ラジオでどんな情報を欲しますか



住民アンケートを解析した結果
 住民が求めているもの、
 イベント情報や生活情報を中心に
 番組を構成することに決定。

「地域情報の充実に向けた県域ラジオ放送事業者と市町村の連携に関する検討会」開催要綱（案）

1 名称

本調査検討会は、「地域情報の充実に向けた県域ラジオ放送事業者と市町村の連携に関する検討会」（以下「検討会」という。）と称する。

2 目的

東日本大震災において、ラジオ放送は災害情報の提供をはじめとして国民が安心・安全に生活する上で大きな役割を果たした。一方で、送信所の防災対策の必要性、放送施設の老朽化、都市部や山間部での難聴、広告市場の縮小傾向等多岐にわたって課題が山積している。

総務省では、こうした状況を踏まえ、今後とも放送が災害情報等を国民に適切に提供できるよう、放送ネットワークの強靱化策等について検討することを目的に、平成25年2月から「放送ネットワークの強靱化に関する検討会」を開催し、同年7月中間取りまとめが公表された。

本中間取りまとめでは、難聴対策、災害対策としてのラジオ送信所の整備、災害対策としてのバックアップ設備の整備等の送信ネットワークの強靱化、コミュニティ放送の普及促進や臨時災害放送局の開設の円滑化、経営基盤の強靱化、自治体との連携強化のほか、特定の地域を対象にしてのラジオ強靱化に向けたモデル事業を国も支援する形で実施するよう提言があった。

本提言を受けて、総務省は平成25年度補正予算において、ラジオ強靱化に資するため、地域情報の充実に向けた県域ラジオ放送事業者と市町村の連携について検討を行い、全国展開に向けた課題や提言を取りまとめることを目的とする調査研究の請負を公告し、平成26年10月6日に株式会社エフエム岩手がこれを受託した。

これにより、コミュニティ放送局を必要としながらも運用負担の問題で実現できない地域において、ラジオ強靱化に資するため、地域情報の充実に向けた県域ラジオ放送事業者と市町村の連携について検討を行い、全国展開に向けた課題や提言を取りまとめることを目的とする調査研究を実施する。

3 調査検討事項

- (1) 地域情報番組の充実方策の検討
- (2) よりきめ細かな災害放送の実施体制の検討
- (3) 住民アンケートの実施
- (4) 前項(1)から(3)の結果を踏まえた、検討会目的に照らした報告書の取りまとめ
- (5) その他関連事項

4 構成

- (1) 検討会は、検討会運営主体（株式会社エフエム岩手）が委嘱する委員により構成する。
- (2) 座長は、検討会構成員が互選した者とする。

5 運営

- (1) 検討会は、座長が開催し、主宰する。
- (2) 座長は、必要に応じて関係者を招聘することができる。
- (3) 座長は、検討会による調査研究の詳細検討のため、下部組織にワーキンググループの設置を命ずることができる。
- (4) ワーキンググループの構成員は、座長の指名を受けた者とし、ワーキンググループにはワーキンググループ構成員が互選した主査を置く。
- (5) ワーキンググループ主査は、座長の補佐を行う。
- (6) その他、運営に関する事項は座長が定める。

6 開催期間

第1回検討会開催の日から平成27年3月30日までとする。

7 事務局

検討会の事務局は、株式会社エフエム岩手に置く。

以上

参考資料（中継局放送 放送日誌 抄録） 1

12月

4日(木)20:00～20:55	【切替え状況】良好
エリア限定放送についての説明／コーナー「のだむらじろ」：野田村コミュニティラジオ開局へ向けての取り組みを紹介／コーナー「宝くじ」：「高橋洋服店」高橋歩さんが、ご自身のお店を紹介	
5日(金)14:45～14:55	【切替え状況】予定時間での切替え不能。久慈スタジオ側のアクセサリ再起動で回復。11:50 予定を時間移動しここで放送。
週末イベント情報／番組へのメッセージを募集	
11日(木)20:00～20:55	【切替え状況】終了部にて、県域からの音がこぼれる
コーナー「のだむらじろ」：大阪大学の渥美公秀先生が大阪大学野田村サテライトセミナーについて紹介／・コーナー「宝くじ」：「サキ時計装飾店」の佐々木佑広さんが、ご自身のお店の情報と「三陸キッドドリームス」について紹介	
12日(金)11:50～11:55	【切替え状況】良好
久慈郵便局の佐々木満局長が、「年賀状引き受けセレモニー」について紹介	
18日(木)20:00～20:55	【切替え状況】良好
コーナー「のだむらじろ」：野田村役場の久慈美津紀さんが、村内保育園の子供たちが歌った歌を収録で紹介。また、野田村歴史の会の吉田照夫さんが野田村の方言を解説。／コーナー「宝くじ」：「サキ時計装飾店」の佐々木佑広さんが、ご自身のお店の情報と「三陸キッドドリームス」について紹介	
19日(金)11:50～11:55	【切替え状況】終了部にて、県域からの音がこぼれる
二子朝市、クリスマスカード作り、北三陸くじ冬の市、もぐらんびあまちなか夜の水族館などを紹介	
25日(木)20:00～20:55	【切替え状況】良好
コーナー「のだむらじろ」：合唱サカ「コルわさらび」と「野田吹奏楽団」の皆さんが、それぞれの活動を紹介。後半は前週に引き続き吉田さんによる野田方言の解説。／コーナー「宝くじ」：巽山稲荷神社の幡磨豊和さんが、神社あれこれ、そして神社の仕事について紹介	

参考資料（中継局放送 放送日誌 抄録） 2

1月

1日(木)20:00～20:55	【切替え状況】良好
コーナー「のだむらじろ」：小田祐士野田村長をお迎えして幼い頃のお話などを／コーナー「宝くじ」：遠藤譲一久慈市長をお迎えして、新しくなった「海女センター」について、また「もぐらんぴあ水族館」の今後について紹介	
4日(日)10:55～11:00	【切替え状況】良好
加叻印房・清章堂の初売り、アトリエ遊の初売り、冬休みお薦め本展、もぐらんぴあまちなか水族館の新春特別企画を紹介	
8日(木)20:00～20:55	【切替え状況】良好
コーナー「のだむらじろ」：野田方言の吉田照夫さんと北田春光さんをお迎えして野田の歴史について／コーナー「宝くじ」：新成人5名をお迎えして、11日に行われる成人式について紹介	
11日(日)10:55～11:00	【切替え状況】良好
補聴器相談、野田村と久慈市の成人式について、野田村の小正月について、久慈産「山ぶどうチューハイ」新発売の話題を紹介	
15日(木)20:00～20:55	【切替え状況】Bフラッグ工事に伴い本社-久慈スタジオ間が不通。 久慈スタジオから中継局切替えを実施【良好】
コーナー「のだむらじろ」：なもみ保存会の八幡重光さんをお迎えして小正月行事「なもみ」について紹介／コーナー「宝くじ」：平庭山荘館長の下館満吉さんが平庭高原の魅力などについて紹介	
19日(月)10:30～10:45	【切替え状況】良好
自衛隊二戸地域事務所の澤口勝弘さん、久慈連絡所の菊池隆仁さんに、自衛官についてと候補生募集について伺った	
22日(木)20:00～20:55	【切替え状況】良好
コーナー「のだむらじろ」：わかめ生産者、橋場敏夫さん、しいたけ生産者の小野紀行さんが、野田村特産わかめ・しいたけについて紹介／コーナー「宝くじ」：海女クラブ5名がそろい踏み、地元アトル活動を紹介	
26日(月)10:30～10:45	【切替え状況】良好
フットボール小学校交流大会、UNITYライブ、土風館のゆく年くる年お振舞について紹介	
29日(木)20:00～20:55	【切替え状況】良好
コーナー「のだむらじろ」：「読み聞かせサークルあっぷっぷ」と「木工工房だらすこ」の活動について、大澤継弥さんに伺った／コーナー「宝くじ」：ブラジリアン柔術と総合格闘技について、鹿糠知樹さんをお迎えして伺った	

参考資料（中継局放送 放送日誌 抄録） 3

2月

2日(月)10:30～10:45	【切替え状況】良好（防災ラジオ起動試験）
「株式会社まるこ」の小泉好明さんをお迎えして、お店の特徴を紹介。 後半は、防災ラジオの紹介と起動試験	
5日(木)20:00～20:55	【切替え状況】良好
コーナー「のだむラジオ」：食生活改善推進協議会の熊谷やえこさん、大沢やすこさん、下畑優子さんをお迎えして、料理がラブリを受賞した「減塩レ」を紹介／コーナー「宝くじ」：洋風居酒屋「レフリー」鉄板焼き「団家」の小倉徹也さんが、メニューや期間限定のランチについて紹介	
6日(金)11:50～11:55	【切替え状況】良好（防災ラジオ起動試験）
防災ラジオの起動試験を実施	
8日(日)10:55～11:00	【切替え状況】良好（防災ラジオ起動試験）
防災ラジオの起動試験を実施	
12日(木)20:00～20:55	【切替え状況】良好
コーナー「のだむラジオ」：チーム北アス写真班の渥美さん、宮前さん、中野さんをお迎えして、震災で流された写真の返却活動と、写真を取り戻された方々の様子などを紹介／コーナー「宝くじ」：商工会議所の池さんが、はしご酒イベントを紹介	
14日(土)19:30～19:55	【切替え状況】良好
久慈市在住の劇作家、小室好司さんに「おらほーる劇場」について伺った	
17日(火)10:00～10:25	【切替え状況】良好（津波注意報に係わる情報）
津波注意報発令のため、緊急放送を実施	
19日(木)20:00～20:55	【切替え状況】良好
コーナー「のだむラジオ」：野田村臨時職員の向里奈さんから、女性視点からの野田村の魅力について伺った／コーナー「宝くじ」：久慈まめぶ部屋西横綱「ハツギ山」の石渡範さんをお迎えして、久慈まめぶ部屋の活動について伺った	
21日(土)19:30～19:55	【切替え状況】良好
久慈市在住の詩人、宇部京子さんをお迎えし、作詞活動について伺ったほか、久慈市や野田村で開催する「絵本コンサート」を紹介	
26日(木)20:00～20:55	【切替え状況】良好
コーナー「のだむラジオ」：野田村プレッシャーを務めた佐々木陵太さんの普段の仕事を紹介／コーナー「宝くじ」：三陸久慈市ふるさと大使の募集について説明	
28日(土)11:00～11:55	【切替え状況】良好
※最終回※コーナー「のだむラジオ」：野田村の今昔、そして「のだむラジオ」開局準備会の活動／コーナー「宝くじ」：久慈市プレッシャーを務めた鹿糠さんが、ご自身の仕事について紹介	